

新渡戸スクール国際シンポジウム
「大学院教育改革－専門性と+αをいかに学生に獲得させるか－」

近年、「グローバル化」に象徴される社会の急激な変化に対応するために、個々の専門性を超えて、チームによって問題を解決する能力を備え、新たな社会的価値の創造に貢献できる人材の必要性が高まっており、専門性に加え、この社会的要請に即した〈+αの力〉を育成するための大学院教育の強化が課題となっています。

このため、本学では平成27年度から、全専攻の学生を対象に、大学院課程で学んだすべてのグローバル人材が身につけるべき普遍的な〈+αの力〉を育成するため、さまざまな社会的・文化的背景と多様な専門性をもった学生がともに参加する環境（いわば国際社会の縮図）をキャンパス内に創り出し、アクティブ・ラーニングを基本とする新たな大学院課程特別教育プログラム「新渡戸スクール」を開校します。

本シンポジウムでは、新渡戸スクールが果たす役割と意義を明確にするため、いかなる環境においても指導的・中核的な役割を果たすことができる能力を備えた人材を育成するための大学院教育について、海外における大学院教育の動向と日本国における大学院教育の方向性や社会的要請を踏まえて議論します。

主 催： 高等教育推進機構・新渡戸スクール設置準備委員会
日 時： 2015年2月19日（木）13:30 ～ 18:00
場 所： フロンティア応用科学研究棟・鈴木章ホール（札幌市北区北13条西8丁目）
対 象： 大学関係者、学生
参加費： 無 料 （定員200名、先着順）※事前申込が必要です。

<招待講演者> ※日英同時通訳が入ります。

・マサチューセッツ大学アマースト校 学務担当副学長	Katherine S. Newman 氏
・筑波大学 大学研究センター 教授	金子 元久 氏
・文部科学省高等教育局高等教育企画課国際企画室 国際企画専門官	佐藤 邦明 氏
・一般社団法人日本経済団体連合会社会広報本部 副本部長	長谷川知子 氏
・ボゴール農科大学 研究科長	Dahrul Syah 氏
・カセサート大学 農学部長	Seksom Attamangkune 氏

<申し込み方法>

以下の URL にアクセスし、申込フォームに入力、送信してください。

<https://qooker.jp/Q/ja/nitobes/sympo2015/>

申込締め切り： 2015年2月12日（木）午後12時

<お問い合わせ>

北海道大学 高等教育推進機構 新渡戸スクール準備室 担当：新谷
060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
nitobe-school-office@high.hokudai.ac.jp

<プログラム>

総合司会：山中康裕 地球環境科学研究院教授（北海道大学）

13:00-13:30 開場・受付開始

13:30-13:40 山口佳三 総長（北海道大学）

開会挨拶：近未来戦略と大学院教育改革ビジョン

13:40-14:25 Katherine S. Newman 学務担当副学長（マサチューセッツ大学アマースト校）

基調講演：米国の大学院教育動向を踏まえた新渡戸スクールへの提言

14:25-15:10 金子元久 教授（筑波大学 大学研究センター）

基調講演：教育改革-大学院のあるべき姿

15:10-15:20 ～休憩～

15:20-15:40 佐藤邦明 国際企画専門官（文部科学省高等教育局高等教育企画課国際企画室）

大学院教育の役割と求められる人物像～その現状と施策的観点から～

15:40-16:00 長谷川知子 社会広報本部副本部長（日本経済団体連合会）

経済界から大学院教育へ求めること

16:00-16:15 Dahrul Syah 研究科長（ボゴール農科大学）

インドネシアにおける大学院教育の取り組み

16:15-16:30 Seksom Attamangkune 農学部長（カセサート大学）

タイにおける大学院教育の取り組み

16:30-16:55 山下正兼 大学院教育改革担当副学長（北海道大学）

新渡戸スクールの紹介

16:55-17:05 ～休憩～

17:05-17:55 パネルディスカッション

「いま大学院教育に期待されること、そしてあるべき改革の方向性とは」

パネリスト：講演者7名

モデレーター：小林幸徳 工学院副学長（北海道大学）

17:55-18:00 新田孝彦 教育担当理事・副学長（北海道大学）

閉会挨拶

<その他>

新渡戸スクールは、文部科学省の「平成 26 年度スーパーグローバル大学等事業」に採択された、本学構想「Hokkaido ユニバーサルキャンパス・イニシアチブ～世界に開かれ世界と協働～」の主要プログラムです。